

◆報告事項

総代当選人の決定について

2025年6月2日～7月25日に、第34回通常総代会に向けた総代候補者登録を受け付けました。学校職域選挙区*をのぞくすべての選挙区で、候補者が定数内だったため、総代選挙規約第8条に基づき、選挙は行わず候補者全員の当選を決定しました。当選人については、総代選挙規約第11条に基づき8月11日～9月5日に全事業所とホームページにて公告を行いました。

*学校職域選挙区の総代選挙は2026年4月です

お買い物サポートカーを活用した企業間連携の実証実験について

コープ長野稲里店が運行する組合員向けの買い物送迎車「お買い物サポートカー」を活用し、新たなサービスの実証実験を開始します。株式会社シューマート、中央タクシー株式会社、まごころサポート長野TAO店(シニア向けの生活支援サービス)と連携し、コープでのお買い物の後、ご希望の方(要事前申し込み)を、シューマート長野稲里店まで送迎します。買い物後の送迎を中央タクシーが、地域住民への周知をまごころサポートに担当いただきます。

北相木村との「見守り協定」の締結について

組合員・消費者の暮らしに貢献する組織として、安心してらせる地域づくりに寄与するため、コープながのは北相木村と「高齢者等地域見守り活動に関する協定」を締結しました。これは、北相木村に居住する高齢者や子ども等、見守りを必要とする方への見守り活動の実施に関する必要事項を定めたものです。今回の締結により、見守り協定を結んだ自治体は41市町村となりました。

「組合員の声」7月度まとめ

7月度のカード受付件数は全体で95件でした。(以下、内訳)

組合員さんが直接記入して提出された「こえのポスト」	19件
組合員さんの言葉を職員が記入して提出した「観たこと聴いたことカード」	66件
案内センターへの声	10件

宅配事業では、国産ブレンド米(政府備蓄米)・カルローズ米について「食べ比べてみようと購入しました。ブレンド米は炊き方次第でおいしく食べられました。カルローズ米は日本のお米とは別物でしたが、チャーハンやリゾットにすると、日本米よりもおいしく仕上がりが、それぞれに使い道があると感じました」などの感想が寄せられています。また、くらしと生協の商品について「返品された商品はそのまま次の購入者に届くのか」という質問が寄せられました。「くらしと生協」では、サイズ違いやイメージ違いにより返品が発生した場合、未使用品のみ、物流倉庫や検品会社にて品質を確認し、新品同様の品質を保証した商品のみ再梱包して再度出荷する場合があります。その際にはバーコードにて商品を判別できるように管理しています。

8月度監事会活動

- 7月25日 事業所監査「共済センター」
- 7月29日 内部監査「池田センター」に同行
- 7月30日 日本生協連 常勤監事監査研究交流会 ～31日
- 8月5日 内部監査「移動店舗」に同行
- 8月8日 第3回監事会
- 8月19日 内部監査「学校職域センター」に同行

2025年7月の回収量

【★…店舗のみの数値】
【前年同月に対して ↑増加 ↓減少】

牛乳パック 5,934 kg ↓	ペットボトル 10,091 kg ↓
本数 197,800本	本数 190,389本
たまごパック 1,863 kg ↓	食品トレイ 2,894 kg ↓
パック 155,250パック	枚数 482,333枚
アルミ缶★1,268 kg ↓	買物袋持参率★88.7% ↓
缶 30,190缶	来店数 72,736人

8月度決算(2025年7月21日～8月20日)

組合員数	344,573人 (前月差126人増加)
出資金総額	137億3万円 (前月差3,035万円増加)
事業高	33億8,106万円 (予算比102.2%)
宅配	31億420万円 (予算比102.1%)
店舗	2億2,327万円 (予算比103.5%)
職域	574万円 (予算比106.5%)
経常剰余金	8,293万円 (予算比79.3%)



子ども平和新聞プロジェクト

協力：長野市民新聞社

被爆・戦後80年の節目となる今年、長野市民新聞社の協力のもと、コープながの組合員のお子さん6人が、長野市にある戦跡「松代大本営地下壕」をテーマとした平和新聞づくりに取り組みました。

新聞づくりの舞台裏

参加した子どもたちは、長野市民新聞社の佐藤編集長から新聞の作り方や取材の仕方を学びました。その後、コープながのの小山田理事のガイドで地下壕内を取材。地下壕が建設された背景をはじめ、建設工事の様子や使われた道具、そして過酷な建設工事に従事した労働者の実情など、多岐にわたるテーマを掘り下げました。

完成した平和新聞をぜひご覧ください！

二次元コードから新聞をご覧くださいませ

※コープ長野稲里店・安曇野豊科店にて平和新聞のコピーを設置しています(9/22頃～)。



参加者6人と地下壕ガイドの小山田理事



新聞づくりを学んだ初回ワークショップ



松代大本営地下壕を取材！第2回ワークショップ